

令和7年度奄美群島地域通訳案内士育成事業（スキルアップ及びあり方検討業務）
に係る公募型プロポーザル 質問回答書

奄美群島広域事務組合 令和7年6月19日公表

No	該当文書及び 項目番号	質問	回答
1		奄美群島地域通訳案内士の人数について 島別、言語別に有資格者数を教えてください。	別表のとおりである。
2	業務委託仕様書4 ページ、上から12 行目「・実務研修 の傷害保険に加入 すること」	受講者数について 受講者の最大数は、奄美大島で30人、徳之島で10人と想定してよろ しいですか。現場研修の交通手段（バス、タクシー等）の手配や傷 害保険の加入口数の見積に必要となります。	質問のとおり、奄美大島30人、徳之島10人と想定して良い。 なお、提案者間で想定人数に差異が生じないように見積書様式を修正 したので、併せて確認されたい。
3		講義時間について 「R7 業務委託仕様書 別添資料1」によりますと、座学の地元学 は各言語で、危機管理は日本語で、合計11時間となっております。 これは、奄美大島と徳之島でそれぞれ地元学の日本語が4.5時間、 中国語が4.5時間、危機管理の日本語が2時間、合計11時間という理 解でよろしいですか。奄美大島と徳之島を合わせると22時間という こととなります。また、現場研修につきましては16時間となってお りますが、これは奄美大島と徳之島においてそれぞれ日本語で8時 間、中国語で8時間、合計16時間という理解でよろしいですか。奄 美大島と徳之島を合わせると32時間ということになります。	地元学については、3時間×3回＝9時間、危機管理について は、2時間とし、座学の合計を11時間と想定しているが、質問の とおり、地元学の時間について、4.5時間×2回としても良い。ま た、地元学における「各言語」の記載については、研修テキストに ついて、各言語で作成することを想定したものであったが、テキス ト及び講義の全てを日本語で統一することとしたいため、「R7 業 務委託仕様書 別添資料1」については、座学における「各言語」 の記載を「日本語」に改めたので、公表資料を再度、確認いただき たい。質問のとおり、奄美大島と徳之島を合わせると22時間という 認識で良い。 また、現場研修については、質問のとおり認識して良い。奄美大 島と徳之島を合わせると32時間である。 なお、講習内容については、より良い講習とするため、「R7 業 務委託仕様書 別添資料1」に記載の内容を前提としながらも、独 自提案を期待するものである。したがって、業務受注後は講習内容 について、受発注者間で協議の上、適宜修正・変更することが可能 であることを了知されたい。
4		受講者の旅費支給について 業務委託仕様書の3ページ「オ. 受講者の申込・受付」に「・受講 者からフェリー代及び宿泊費の領収書を徴収し、旅費を支給するこ と」とありますが、対象者は奄美大島・徳之島以外からの受講者、 つまり喜界島、沖永良部島、与論島からの受講者が対象と理解して よろしいですか。	質問のとおり、喜界島、沖永良部島、与論島の3島からの受講者を 対象とすること。 なお、提案者間で想定人数及び旅費金額に差異が生じないように見積 書様式に具体例を示している。具体例のとおり、計上すること。

令和7年度奄美群島地域通訳案内士育成事業（スキルアップ及びあり方検討業務）
に係る公募型プロポーザル 質問回答書

奄美群島広域事務組合 令和7年6月19日公表

No	該当文書及び 項目番号	質問	回答
5		傷害保険の加入について 業務委託仕様書4ページ、上から12行目に「・実務研修の傷害保険 に加入すること」とありますが、傷害保険加入の対象となる研修 は、奄美大島と徳之島の現場研修のみと理解してよろしいですか。	質問のとおり、奄美大島及び徳之島における現場研修のみ傷害保険 へ加入すること。
6		令和6年度11月貴組合が実施したアンケートの内容及び結果を提 供いただくことは可能か。	可能である。ただし、資料については、公表しないため個別に発注 者まで問い合わせること。

【市町村別】奄美群島地域通訳案内士 登録者数 (R7.3.31現在)

【質問No 1 関係】

※登録簿の住所地を基に集計

市町村	言語	H28	H29	H30	R1	R2	R4	R5	R6	登録者 合計
奄美市	英語	4	7	14	1	6	5	8	2	47
	中国語	0	0	16	0	0	1	0	0	17
	韓国語	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	計	4	7	30	1	6	6	9	2	63
大和村	英語	1	1	2	0	0	0	2	0	6
	中国語	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	韓国語	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	1	2	0	0	0	2	0	6
宇検村	英語	3	1	0	0	0	2	2	0	8
	中国語	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	韓国語	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	3	1	0	0	0	3	2	0	9
瀬戸内町	英語	1	1	0	1	1	2	0	1	7
	中国語	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	韓国語	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	計	1	1	1	1	1	2	1	1	8
龍郷町	英語	3	0	3	0	2	1	2	2	13
	中国語	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	韓国語	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	3	0	3	1	2	1	2	2	12
喜界町	英語	0	2	0	0	4	0	1	0	7
	中国語	0	1	4	0	0	1	0	0	6
	韓国語	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	3	4	0	4	1	1	0	13

市町村	言語	H28	H29	H30	R1	R2	R4	R5	R6	登録者 合計
徳之島町	英語	0	5	0	0	0	1	4	0	10
	中国語	0	0	0	0	1	0	1	0	2
	韓国語	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	計	0	5	0	0	1	1	6	0	13
天城町	英語	1	2	3	0	0	0	0	0	6
	中国語	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	韓国語	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	2	3	0	0	0	0	0	6
伊仙町	英語	0	2	1	0	0	1	1	0	5
	中国語	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	韓国語	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	2	1	0	0	1	1	0	5
和泊町	英語	1	2	2	0	0	1	0	1	7
	中国語	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	韓国語	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	2	2	0	0	1	0	1	6
知名町	英語	0	1	0	1	0	2	1	1	6
	中国語	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	韓国語	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	1	2	1	0	2	1	1	7
与論町	英語	1	3	1	1	2	0	2	0	10
	中国語	0	1	0	0	0	1	0	0	2
	韓国語	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	計	1	3	2	1	2	0	4	0	13
合計	英語	15	27	26	4	15	15	23	7	125
	中国語	1	1	24	1	1	3	2	0	32
	韓国語	0	0	0	0	0	0	4	0	4
	計	15	28	50	5	16	18	29	7	161

※与論町1名は両言語取得済み

【島別】奄美群島地域通訳案内士 登録者数 (R7.3.31現在)

島名	言語	H28	H29	H30	R1	R2	R4	R5	R6	登録者 合計
奄美大島	英語	12	10	19	2	9	10	14	5	81
	中国語	0	0	17	1	0	2	0	0	20
	韓国語	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	計	12	10	36	3	9	12	16	5	103
喜界島	英語	0	2	0	0	4	0	1	0	7
	中国語	0	1	4	0	0	1	0	0	6
	韓国語	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	3	4	0	4	1	1	0	13
徳之島	英語	1	9	4	0	0	2	5	0	21
	中国語	0	0	0	0	1	0	1	0	2
	韓国語	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	計	1	9	4	0	1	2	7	0	24
沖永良部島	英語	1	3	2	1	0	3	1	2	13
	中国語	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	韓国語	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	3	4	1	0	3	1	2	15
与論島	英語	1	3	1	1	2	0	2	0	10
	中国語	0	0	1	0	0	0	1	0	2
	韓国語	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	計	1	3	2	1	2	0	4	0	13
合計	英語	15	27	26	4	15	15	23	7	132
	中国語	1	1	24	1	1	3	2	0	32
	韓国語	0	0	0	0	0	0	4	0	4
	計	15	28	50	5	16	18	29	7	168

※別添資料1

令和7年度奄美群島地域通訳案内士育成事業業務委託仕様書
スキルアップ研修の内容について

実施する研修内容等（スキルアップ）

① 研修概要（スキルアップ）

科目	内容	時間
座学	・地元学（3時間×3回）通訳ガイドとして活動するにあたり有益な情報、より専門的な観光知識を習得する。【日本語各言語】 ・危機管理（2時間×1回）【日本語】	11 時間
現場研修	・主要観光地で現地ガイドによる日本語での説明を聞き、発信力を高める。【日本語】 ・現役の通訳案内士等の実演を参考に、より高度なガイド技術を習得する。【各言語】	16 時間
研修合計時間		27 時間

② 研修内容

(1) 研修受講の条件について（各言語共通）

奄美群島地域通訳案内士として登録を行っている者。時勢に応じた観光知識や地元の情報等を新たに習得するため、定期的な受講を促す。

(2) 研修の内容について

研修受講者は、奄美群島広域事務組合が実施する「座学」（地元学、危機管理）、「現場研修」を受講する。

○「座学」（地元学）（研修時間：9時間）

奄美群島の概況（歴史、文化、地理、経済、産業等）及び奄美群島の観光の現状等に関する知識を幅広く習得する。（各言語で実施）

○「座学」（危機管理）（研修時間：2時間）

観光危機管理に基づく資料及び訪日外国人旅行者への情報提供ツールを活用し、緊急時の対応方法等について知識を習得する。

○「現場研修」（研修時間：16時間）

実際の観光地で専門家による日本語での説明を聞き、対象の言語を用い、現役の通訳案内士等の実演も参考に模擬ガイドを実施することで、より高度な案内能力を習得する。（各言語で実施）

※これらの研修は、各言語での説明技術の習得を目的としており、原則として対象言語で実施する。

(3) 効果測定について

本スキルアップ研修は、資格保持者である奄美群島地域通訳案内士が研修全体を通し、研修の理解度、外国語のスピーキングスキルやプレゼンテーション能力及び通訳・ガイド技術の深化を図ることを目的とするため、効果測定は実施しない。

ただし、各研修の受講状況を確認し、発注者が修了証を交付する。

経費内訳書 (①スキルアップ研修業務)

【質問No2.3.4関係】

令和 年 月 日

奄美群島広域事務組合 御中

住所：
商号又は名称：
代表者氏名：

参考様式 (記入例)

業務名：令和7年度奄美群島地域通訳案内士育成事業 (スキルアップ及びあり方検討業務)

(単位：円)

NO	項目	内訳	単価 (円)	数量	単位	数量	単位	金額	備考
(1) 直接人件費									
1	テキスト作成 ・ 研修内容の検討、資料収集 ・ テキスト作成、製本委託等※任意	事業統括者	25,000	10	日	1	人	250,000	
		マネージャー (コーディネーター)	18,000	10	日	1	人	180,000	
		マネージャー (コーディネーター)	15,000	10	日	1	人	150,000	
2	会場・講師手配等 ・ 開催方法の提案 ・ 会場、講師の手配	事業統括者	25,000	10	日	1	人	250,000	
		マネージャー (コーディネーター)	18,000	10	日	1	人	180,000	
		マネージャー (コーディネーター)	15,000	10	日	1	人	150,000	
3	研修業務 ・ 受講者募集・広報、申込者受付・管理 ・ 座学及び現場研修、運営全般	事業統括者	25,000	10	日	1	人	250,000	※見積り計上にあたっては、以下の人数で計上すること。 奄美大島：30人、徳之島10人
		マネージャー (コーディネーター)	18,000	10	日	1	人	180,000	
		マネージャー (コーディネーター)	15,000	10	日	1	人	150,000	
4	報告書作成 (PDFデータ及び紙媒体) ・ 業務報告書 (改善提案・収支報告含む) ・ 研修テキスト	事業統括者	25,000	10	日	1	人	250,000	
		マネージャー (コーディネーター)	18,000	10	日	1	人	180,000	
		マネージャー (コーディネーター)	15,000	10	日	1	人	150,000	
(1) の合計								2,320,000	
(2) 直接経費									
1	会場使用料	会場使用料 (奄美大島)	10,000	4	日			40,000	電気代等含む
		会場使用料 (徳之島)	10,000	3	日			30,000	電気代等含む
2	大型バス借り上げ料	レンタル料金 (奄美大島)	120,000	3	日			360,000	〇〇人乗り、運転手含む
		レンタル料金 (徳之島)	50,000	2	日			100,000	〇〇人乗り、運転手含む
3	印刷製本費	座学テキスト (地元学) ※日本語のみ	500	60	部			30,000	※印刷のみに係る費用を記載
		座学テキスト (危機管理) ※日本語のみ	500	60	部			30,000	※印刷のみに係る費用を記載
		現場研修テキスト 英・中	500	60	部			30,000	
		広告費 (パンフレット、ポスター)	1,000	100	部			100,000	
		報告書	5,000	1	式			5,000	
4	その他	業務委託費 (●●業務)	20,000	1	式			20,000	別途参考資料有り。
		〇〇使用料						0	
(2) の合計								745,000	
(3) 特別経費									
1	講師・スタッフ旅費 ※別シートに示す旅費参考により内訳書を作成しても良い。	航空券 (奄美大島 現場研修)	60,000	1	往復	3	人	180,000	講師〇名、スタッフ〇名
		●●講師 (●●島 ●●研修)	100,000	1	式	3	人	300,000	※旅費内訳 (1) 参照
		航空券 (奄美・徳之島下見)	60,000	1	往復	3	人	180,000	講師〇名、スタッフ〇名
		航空券 (奄美・徳之島下見)	60,000	1	往復	3	人	180,000	
		宿泊費 (現場研修)	9,800	10	日	3	人	294,000	講師〇名、スタッフ〇名
		宿泊費 (下見など)	9,800	10	日	3	人	294,000	講師〇名、スタッフ〇名
		講師謝金	10,000	100	時間	1	人	1,000,000	
2	受講者旅費	喜界島 (フェリー代)	24,145	1	往復	5	人	120,725	
		沖永良部島 (フェリー代)	20,327	1	往復	5	人	101,635	
		与論島 (フェリー代)	20,818	1	往復	5	人	104,090	
		宿泊費						0	
3	現地交通費	レンタカー料金 (奄美大島)	10,000	3	日	1	回	30,000	
		レンタカー料金 (徳之島)	10,000	2	日	1	回	20,000	
4	その他	〇〇利用料						0	
		〇〇利用料						0	
(3) の合計								2,804,450	

※ 委託対象外の項目は、記載しない。

※ (2)直接経費及び(3)特別経費については、税抜き価格 (小数点以下切り捨て) で計上し、消費税の二重課税とならないよう留意すること。

受講者旅費内訳(喜界島受講者)

【質問No2.3.4関係】

月日	発着地名	謝金	特別料金	航空賃	船賃	(1K)車賃	(1夜)宿泊料	備考
	奄美～喜界				3,480		9,800	
							9,800	
	喜界～奄美				3,480			
	小計		0	0	6,960	0	19,600	
合計							26,560	
税抜							24,145	

受講者旅費内訳(沖永良部島受講者)

月日	発着地名	謝金	特別料金	航空賃	船賃	(1K)車賃	(1夜)宿泊料	備考
	沖永良部～徳之島				1,380		9,800	
							9,800	
	徳之島～沖永良部				1,380			
	小計		0	0	2,760	0	19,600	
合計							22,360	
税抜							20,327	

受講者旅費内訳(与論島受講者)

月日	発着地名	謝金	特別料金	航空賃	船賃	(1K)車賃	(1夜)宿泊料	備考
	与論～徳之島				1,650		9,800	
	徳之島～沖永良部				1,650		9,800	
	小計		0	0	3,300	0	19,600	
合計							22,900	
税抜							20,818	